

「令和2年度旭区運営方針 主な事業・取組」の振り返りについて

基本目標 子育て世代をはじめ多くの方々に選ばれ続ける「ふるさと旭」の実現 ～「安心」「健やか」「ふるさと」～

事業名	事業内容	振り返り
災害に強い区づくり事業	<p>自然災害の激甚化・多発化等の現状を踏まえ、避難場所の停電対策などの資機材の拡充や、災害ボランティア対応要領の映像化による普及・啓発等に取り組みます。また、地域防災拠点や町の防災組織への支援を充実し、地域の防災力向上を後押しします。</p> <p>災害時医療体制の周知を進めるとともに、災害時に備えた訓練や連絡会を通じ、医療機関等との連携を深めます。</p> <p>災害発生時における福祉避難所について、円滑な運営を図るため、連絡会を開催するとともに開設・運営訓練を支援します。</p>	<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 風水害時の避難場所の停電対策としてLED投光燈及び蓄電池を購入（8月及び2月） 地域防災拠点等のコロナ対策資器材の購入（6月～3月） DVD「旭区災害ボランティア受け入れの流れ」の作成（6月～3月）、地区連合及び地域防災拠点へのDVD配布（3月） 防災訓練（地域防災拠点：8月～3月・計23拠点・1,642人、地区連合：6月～1月・計9連合・約14,000人） 防災講演会（オンライン開催：3月3日～21日延べ14日間公開、約220人視聴） 区災害対策本部運営訓練（1月：地震対策訓練密着小実施） 稚子WEBカメラ運用（最大閲覧数：423回/日・3月13日大雨・洪水警報時） <p>【福祉保健課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 三節合合同災害時医療のぼり旗提出訓練（10月26日～28日、参加区：旭区、保土ヶ谷区、緑区、泉区、瀬谷区、戸塚区） 災害時医療関係施設開設状況報告訓練（10月26日～28日） 非常用通信機器による通信訓練（偶数月、計5回） 医療救護隊集結拠点における巡回診療用資器材の更新・整理、コロナ対策資器材の購入（5月～3月） 災害時医療普及啓発用リーフレットの印刷、配付（7月） リネース（※）の登録事務（登録人数：20人、令和3年3月31日現在） ※リネースとは大震災発生時に、あらかじめ登録された医師、薬剤師、市職員とともに、横浜市防災計画に基づき「医療救護隊」として活動する看護職のことで。 <p>【高齢・障害支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉避難所協定締結施設 66施設 福祉避難所連絡会（第1回：7月書面開催、第2回：11月25日開催） 幼対応訓練 66施設中46施設実施（9月4日） 開設・運営訓練 19施設と区が連携して実施（9月16日、9月29日、10月15日） 災害時要援護者支援の取組実施自治会町内会の割合 97%
安全で安心な食と生活環境支援事業	<p>安全で安心な食と生活環境づくりのため、飲食店などの事業者に対して総合衛生管理（HACCP）の導入支援や食事がボランティアへの講習会等食中毒予防啓発、ハザードボランティアによる高齢者世帯等への支援を行います。また、地域防災拠点におけるペト同行避難訓練実施を支援します。</p> <p>令和元年神奈川風下ワースト2位の被害件数であった特殊詐欺被害の防止を図るため、振り込み詐欺対策電話機等購入費補助事業を新設します。</p> <p>また、犯罪のない明るいまちづくりを推進するため、地域における自主防犯活動団体の支援を行います。</p>	<p>・HACCP導入支援（64施設、導入率36%）</p> <p>・食中毒予防講習会（2回25）</p> <p>・ハザード講習会、ボランティア連絡会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため未実施、駆除件数は23件</p> <p>・ペト同行避難訓練は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため実施することができなかったため、チラシによる啓発を実施</p> <p>・振り込み詐欺対策電話機等購入費補助（113件、1,065,000円）</p>
地域安全安心普及推進事業	<p>子どもの通学中の交通事故を防止するため、横断旗の配付数を増やすなど、スクールゾーンの安全対策を支援します。</p> <p>また、高齢者の交通事故の予防を図るため、スクエアストリート（スタントマンによる事故再現）による高齢者向け交通安全教室を実施します。</p>	<p>・スクールゾーン対策</p> <p>協働会20団体（要望件数：353件）、補助金の交付（7～10月）、エマーク69か所実施、蛍光反射幕35か所実施、路面標示36か所実施</p> <p>・スクエアストリート方式による高齢者向け交通安全教室（参加者約70名）</p>
交通安全対策事業	<p>子ども、青少年、障害者・者、高齢者等すべての人が安心して自分らしく暮らせることを目指して、行政はもとより市民の啓蒙をはじめ、自治会町内会、社会福祉協議会、地域ケアプラザ、福祉施設、各種団体等が協働して取り組みます。</p> <p>また、令和3年度から運用を開始する第4期計画では、区民一人ひとりに我が事と思ってもらえるわかりやすい計画の策定を目指します。</p>	<p>【福祉保健課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 旭区福祉保健推進会議（2回：8月26日、3月17日） 策定検討部会（2回：5月25日（書面）、7月29日） 第4期地区別計画策定説明会（9月14日2回、9月17日） 地域福祉保健計画区民意見募集実施（11月11日～12月15日）とパネル展示（11月9日～13日） きらっとあさひ福祉大会（2月13日：中止） <p>【生活支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域関係機関との個別セーフティーネット会議を36件実施 健康局を通じて居住支援協議会と今後の連携について検討し、また宅建協会横浜西部支部連絡会にて制度を説明 と区域の関係機関と地域支援に関する共通認識を得るための研修会を開催 西部ユースプラザが開催した若者支援セミナーにて制度説明や事例を紹介 旭区社協との定期ケース連絡会及び臨時の連絡会を開催 生活に困難を抱える世帯の中高校生に、学習支援（勉強会）を実施（121回、のべ1,556人）
旭ウォーキンググループ創生事業	<p>健康寿命の延伸に向け、あらゆる世代に対し、緑豊かな自然など旭区の魅力、財産を生かしたウォーキンググループを創生し、いきいきと暮らせるよう持続的な取組を進めます。</p> <p>「歩っ歩でMAP（ほっぽでまっご）」に掲載のモデルコース上で撮影した写真を募集し、ホームページで紹介する企画やコース沿いの花壇の整備など子育て世代の方が「歩いてみたくなる」きっかけづくりを行います。</p>	<p>【土木事務所】</p> <ul style="list-style-type: none"> あさひくんでザインマンホールの設置（歩っ歩でMAP掲載のウォーキングコース上に10基設置） <p>【福祉保健課】</p> <ul style="list-style-type: none"> あさひくんでザインマンホールを活用した写真募集企画「歩っ歩でSHOT」の実施（令和2年10月1日～令和3年1月29日 応募44名） 健康プレートの設置（笹野台地区、二俣川地区、白根地区、万騎原地区の4地区に設置） <p>【地域振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 史跡の情報を発信する標柱QRコード整備を実施（16か所） グリーンロード案内サイン補修等実施（24か所）
地域つながりづくりに向けた民生委員の活動支援事業	<p>民生委員の活動を支援することにより、地域のつながりづくりを進めます。また、民生委員の制度や活動内容を区民の皆様に広く理解していただく普及啓発を行います。</p> <p>次世代を担う新たな人材を育成するため、民生委員・主任児童委員とともに、小学校5・6年生を対象としたジュニアボランティア体験事業などを通じて意識の醸成を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で民生委員児童委員の活動が困難な状況を支援するため、アンケート及び研修会を実施し、民生委員同士の情報交換を促すことにより訪問をはじめとする地域活動に繋げるための支援を実施（7月、3月） ・ASAHオンラインフェスティバル2021に参加し動画配信により啓発活動を実施（12月18日～12月26日） ・民生委員児童委員と友愛活動員など地域の福祉関係者が連携し、地域全体で見守りを実施（通年） ・ジュニアボランティア体験事業は、新型コロナウイルス拡大防止のため中止としたが、子どもたちにボランティアの理解と関心を深めてもらうことを目的にジュニアボランティア体験事業の啓発チラシ等を旭区内の全公立小学校（24校）に6年生の人数分布（1月）
子育て・若者支援事業	<p>地域で安心して出産・子育てができるよう、新たに、発達支援にかかわる事業者の紹介冊子の作成や「妊娠・出産マイカレンダ―」の個別作成等、妊娠前から切れ目ない支援を行います。</p> <p>また、ひきこもり等の困難を抱える若者の社会参加や就労に向け、西部ユースプラザ等関係機関と連携して支援に取り組みます。</p>	<p>【妊娠・子育て支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害児通学支援事業所あんない「あさひっ子」の作成（1,000部）、「妊娠・出産マイカレンダ―」の配付（1,574人）、リーフレット「息抜き上手・相談上手」の作成（500部）、子育てガイドブック「とことこ」の作成（5,000部）、両親（母親）教室（123組、238人）、地域育児（赤ちゃん）教室（84回、1,015人）、こんにちは赤ちゃん訪問（1,127人） <p>【ひきこもり等の困難を抱える若者支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動による社会参加（2人、のべ16回）、区役所での専門相談（月2回、10件）、若者支援セミナー開催（1回、9人参加）
旭区生活困難者自立支援 若年層向け広報啓発事業	<p>子育て世代をはじめとした若い世代が、早い段階で相談や支援につながり、地域で安心して生活を送ることができるよう、地域子育て支援拠点や西部ユースプラザ等関係機関と連携して生活困難者自立支援事業の理解と周知を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「アウトリーチパートナー研修用DVD」を作成し、地区民協に送付して研修を実施 ・旭区冊子「横浜市旭区ライフイベントあしんガイド」の増刷と関係各所に配付し制度の周知を行ったことで、相談数・住居確保給付金の申請数が増加 ・若葉台地区にて子育て支援を行っている地域活動団体に制度周知及び家計講座を開催した。 ・若葉台地区「親子の集いの広場」にて制度周知した。
認知症をみんなで支えるまちづくり事業	<p>区内の支援者や関係機関等の連携を深め、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを推進します。</p> <p>また、認知症についての正しい理解を広く周知するための普及啓発活動を展開します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症をみんなで支える地域支援連絡会（7月書面開催） ・徘徊SOSネットワークシステム（登録者数：225人（令和3年3月末）うち見守りシール事業利用者155人（令和3年3月末）） ・旭区医師会と旭区役所が考えた勉強会「動いて脳を健康に～自分で出来る介護予防・認知症予防～」（年1回） ・世界アツハイマーマーにちなんだ啓発イベント： <ul style="list-style-type: none"> ①各包括エリアにおける普及啓発（街頭チラシ配布、協賛店訪問等） ②区役所における普及啓発、オレンジワークとして区役所情報発信コーナーでパネル展示、資料配布（9月7日～9月15日） ③横浜FCと協働して認知症啓発ポスターを作成。鶴ヶ島駅、二俣川駅へのポスターの掲出（9月3日～9月30日）
障害者ネットワーク推進事業	<p>障害者に対する理解が深まるよう講演会等を開催し、普及啓発活動に取り組みます。</p> <p>また、障害者が地域で安心して暮らせるよう、スポーツ大会や地域での精神科福祉施設関係等を通じて、社会参加や地域生活を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・旭区ふれあいスポーツ大会はコロナの影響で中止。（屋外でできる競技を検討するために1/12さわやかスポーツ体験会実施） ・精神科福祉施設派遣事業 6回（17件） ・地域精神保健福祉講座 2回（66人） ・障害者施設健康増進出前講座（コロナの影響でリモート開催） 1回（8人） ・旭区精神保健福祉セミナー（コロナの影響でリモート開催） 1回（アウトネット発行222人）

安心・健やかな暮らしの推進

魅力発信、つながりづくりを推進	<p>旭区のポテンシャルを活かした転入促進プロモーション事業</p>	<p>転入者の感じる旭区の魅力、転入者の傾向を把握するため、転入者アンケート調査を行うとともにオープンデータ等を活用して、旭区の特徴・強みを集積・整理します。その上で、旭区誕生50周年記念事業で再認識した魅力・財産の活用、沿線区や鉄道事業者など多様なパートナーとの連携を通じて、旭区のライフスタイルを主に子育て世代に向けて発信し、転出超過傾向にある子育て世代の定住人口獲得を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 転入者アンケート調査実施（令和2年3月2日（月）～令和2年5月31日（日）まで） 引越し検討中の方向けのウェルカムガイド「ASAHI Style」発行、不動産事業者等と連携して配布 沿線区や鉄道事業者、プロサッカーチームと連携した魅力発信動画の制作
水・緑・花・スポーツ、文化による	<p>市民スポーツ事業</p>	<p>来年のオリンピック・パラリンピック開催に向けて、市民スポーツ祭等の取組をすすめ、特に、性別・年齢・障害の有無を問わず誰もが一緒に参加できるボッチャをはじめ、様々なスポーツを通じ、地域のつながりを強めるとともに、市民の健康づくりを支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 旭ボッチャ講習会を11月3日に開催 午前の部と午後の部に分けて実施（計75名の方が参加）
文化による	<p>文化芸術による心の豊かさ推進事業</p>	<p>文化芸術を身近に感じ、心豊かな市民生活の実現を図るため、区内で展開される文化芸術活動やジャズを始めとした音楽活動、旭区民文化祭を支援します。また、キッズダンスなど若年層の新たな活動を促進するとともに、文化芸術活動の伝承や活動の広がりを目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術活動支援事業：9事業に対し補助金交付、広報等の支援を実施。令和2年度実績：総参加者数1,294人 旭区民文化祭：4事業を開催。参加者数 589人、作品展出品数 72点
水・緑・花を暮らしに取り入れた旭区魅力アップ事業	<p>ホテルの舞う環境づくりや帷子川での環境学習、ウォーキングコース内の花壇整備など旭区の魅力である水・緑・花と身近に触れ合える機会を創出するとともに、旭区で体験できる魅力として発信します。また、これらの取組も活用して、国際園芸博覧会の開催に向けた機運を醸成していきます。また、緑のカーテンづくりや啓発イベントなど地域・学校と連携した温暖化対策を推進します。</p>	<p>ホテルの飼育、学習会、鑑賞会、幼虫の放流の実施（1地区：旭北）</p> <ul style="list-style-type: none"> ホテルの環境学習の実施（5校、約300人） 帷子川の生き物の水権展示（区役所1階） 楽しくお家でエコ！実践講座の動画配信（4回） 緑のカーテン栽培資材配布（1回、約150人） 小中学校、保育園等への緑のカーテン資材提供（小中学校15校、保育園等32園） 自治会町内会等への花苗配布（2回/年、約25,600ポット） 	<ul style="list-style-type: none"> 旧若葉台西中学校、旧左近山小高小学校、旧ひかりが丘小学校の本格活用に向けた地元会議、説明会の開催（10回） 若葉台団地において、旭区SDGs特設サイトを活用した企業等の提案公募（提案2件） 若葉台団地における子育て世帯をテーマとしたワークショップやオンラインセミナーの実施（延べ約120人） 地域主体の左近山団地再生の取組について、市民協働事業を活用して選定した専門家と地域との協議（6回） 左近山団地における大学生による地域支援活動モデル事業の実施 大学生の地域活動（4件）等を3月にオンライン配信にて報告（Facebook動画再生回数約400回）、研究室活動誘致（2件）
浜・SDG・外部。未来都市の創造	<p>SDGs 未来都市の実現に向けた大規模団地再生事業</p>	<p>若葉台団地、左近山団地、ひかりが丘住宅、西ひかりが丘団地において、平成29年度から実施してきたモデル事業の成果を踏まえて団地再生事業に取り組みます。地域や事業者の主体的な取組が展開する仕組みづくりを実施し、SDGsの視点を取り入れた未来に向けたまちづくりの自立化を目指します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 旧若葉台西中学校、旧左近山小高小学校、旧ひかりが丘小学校の本格活用に向けた地元会議、説明会の開催（10回） 若葉台団地において、旭区SDGs特設サイトを活用した企業等の提案公募（提案2件） 若葉台団地における子育て世帯をテーマとしたワークショップやオンラインセミナーの実施（延べ約120人） 地域主体の左近山団地再生の取組について、市民協働事業を活用して選定した専門家と地域との協議（6回） 左近山団地における大学生による地域支援活動モデル事業の実施 大学生の地域活動（4件）等を3月にオンライン配信にて報告（Facebook動画再生回数約400回）、研究室活動誘致（2件）
未来都市の創造	<p>地域活動団体等との協働によるSDGsの広報啓発</p>	<p>きらっとあさひ地域支援補助金の「SDGs取組枠」により、SDGsの17の目標を事業目標に掲げて地域活動する団体を支援するとともに、団体と協働してSDGsの広報啓発を行い、地域におけるSDGsの理念の浸透を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> きらっとあさひ地域支援補助金「SDGs取組枠」を2団体に交付 広報よこはまあさひ区版12月号に交付団体の活動を掲載 交付団体の活動紹介冊子を区HPに掲載